

城と史蹟を歩く会 平成14年前半のスケジュール

- 第9回 1月2日(休日) 皇居一般参賀と明治神宮初詣(自由参加=参加費無料)
 往路=八幡宿8時10分乗車、蘇我8時29分発(③番線京葉マリンドリーム)東京9時08分着、いつもの広場で行程とみどころ説明
 北の丸公園で解散、以降有志で。移動=九段下(半蔵門線)表参道-明治神宮
 復路=原宿-東京(京葉線)蘇我-八幡宿17時00分ころ着
 主要コース=皇居二重橋-伏見櫓-東庭天皇参賀あいさつ10時10分、11時00分-(強足の方は桔梗門-再入場可能)-富士見櫓-蓮池濠-御局門-富士見多聞-西はね橋-乾門-北の丸公園乾門前11時40分(解散昼食、以降有志のみ)-明治神宮(初詣)
 お断り=警備と混雑のため皇居、明治神宮とも団体での説明、ご案内はできません。
 皇居に持ち込める携帯品=簡単な手荷物。ハンドバック、カメラ、コンビニ袋おにぎり程度(リュックはだめ=一時預かりされます)(昼食の北の丸公園は自販機飲料物しかありません)
 雨天予備日=雨天中止、予備日なし。中止の場合は平成15年に再企画
- 第10回 3月10日(日曜日) 品川宿を歩く
 往路=八幡宿8時10分乗車、千葉29分着、52分発(⑨始発総武快速)品川9時46分着
 復路=青物横町(京浜急行)-品川16時21分(総武快速直通)八幡宿17時39分着
 主要コース=-御殿山遠望-旧東海道品川宿-土蔵相模跡-くじら塚-台場跡-聖蹟公園本陣跡-品川神社-東海寺-子供の森公園(昼食)-しばられ地蔵-妙国寺-品川寺
 雨天予備日=3月16日(土曜日)
- 第11回 4月4日(木曜日) 国府台城から矢切の渡しで寅さんの柴又帝釈天を歩く
 往路=八幡宿8時10分乗車、千葉31分着(①、②番線総武各駅乗車)市川9時50分ころ着
 復路=柴又(京成金町線-京成本線)京成津田沼-千葉-八幡宿18時ころ着
 主要コース=真間の継橋-手児奈堂-弘法寺-下総国府跡-里見公園(花見、昼食)-国府台病院前(バスで移動200円)下矢切-矢切の渡し(100円)-寅さん記念館(500円)-帝釈天-寅さんの参道、みやげ物街(自由行動)
 雨天予備日=4月9日(火曜日)
- 第12回 5月11日(土曜日) 川越城と蔵の町を歩く(ホリデーパス利用)
 往路=八幡宿7時07分乗車(京葉快速直通)東京7時51分着、(京浜東北線)赤羽8時55分(埼京線川越線)川越9時33分着
 復路=川越16時20分乗車-赤羽-東京-八幡宿19時00分ころ着予定
 主要コース=(東武バス190円)札の辻-川越市役所大手門跡-川越城本丸御殿(100円)-三芳野神社-喜多院(400円)-蔵造の家並-時の鐘-菓子屋横町(自由行動)-札の辻(東武バス190円)
 雨天予備日=5月18日(土曜日)
- 第13回 6月6日(木曜日) 牛込見附と後楽園周辺を歩く
 往路=八幡宿8時10分乗車、千葉8時29分着、45分ころ発(①、②総武各駅)飯田橋9時45分ころ着
 復路=飯田橋(総武中央線)千葉-八幡宿
 主要コース=牛込見附-外堀土塁-神楽坂-牛込城-つく土八幡-小石川後楽園(昼食)-北野天神社-伝通院-春日局像、小石川公園
 雨天予備日=6月11日(火曜日)

第14回予告 7、8月 八幡公民館で勉強会 詳細は次号に掲載
 各回とも下見により一部コース内容を変更することがあります。

城と史蹟を歩く会 市原市八幡北町2-12-12-501 郵便番号290-0069
 (ご案内と問い合わせ) 山岸弘明 電話0436-42-2237

- 1) 趣旨=城と史蹟を楽しみながら歩くこと。目でみるよりはむしろ足で見るものだからです。
- 2) 行動範囲=東京都内、千葉県内など交通費片道1000円圏内、ホリデーパス圏内とします。
- 3) 定例会=毎月1回程度。平日を中心に土、日、祭日も。雨天中止は連絡網で予備日に延期します。
- 4) 資格=通常程度歩けること。会員は原則として毎回参加、欠席のとき前回受付時申出またはTEL連絡。無断欠席はやめましょう。
- 5) 会員の種類=会員、土日会員。会員にならなくても1回だけの参加ができます。
- 6) 入会金=なし。参加費=毎回500円+100円(3月から=アルバムカラーコピーのため)。交通費、入場料などは個人負担、弁当持参。
- 7) 保険はありません。会の運営はボランティアで行なわれています。万一の責任は負えませんので、お互いに交通ルールなどに注意しましょう。
- 8) 会員数=平成13年12月現在43名、毎回30名以上参加。

以上

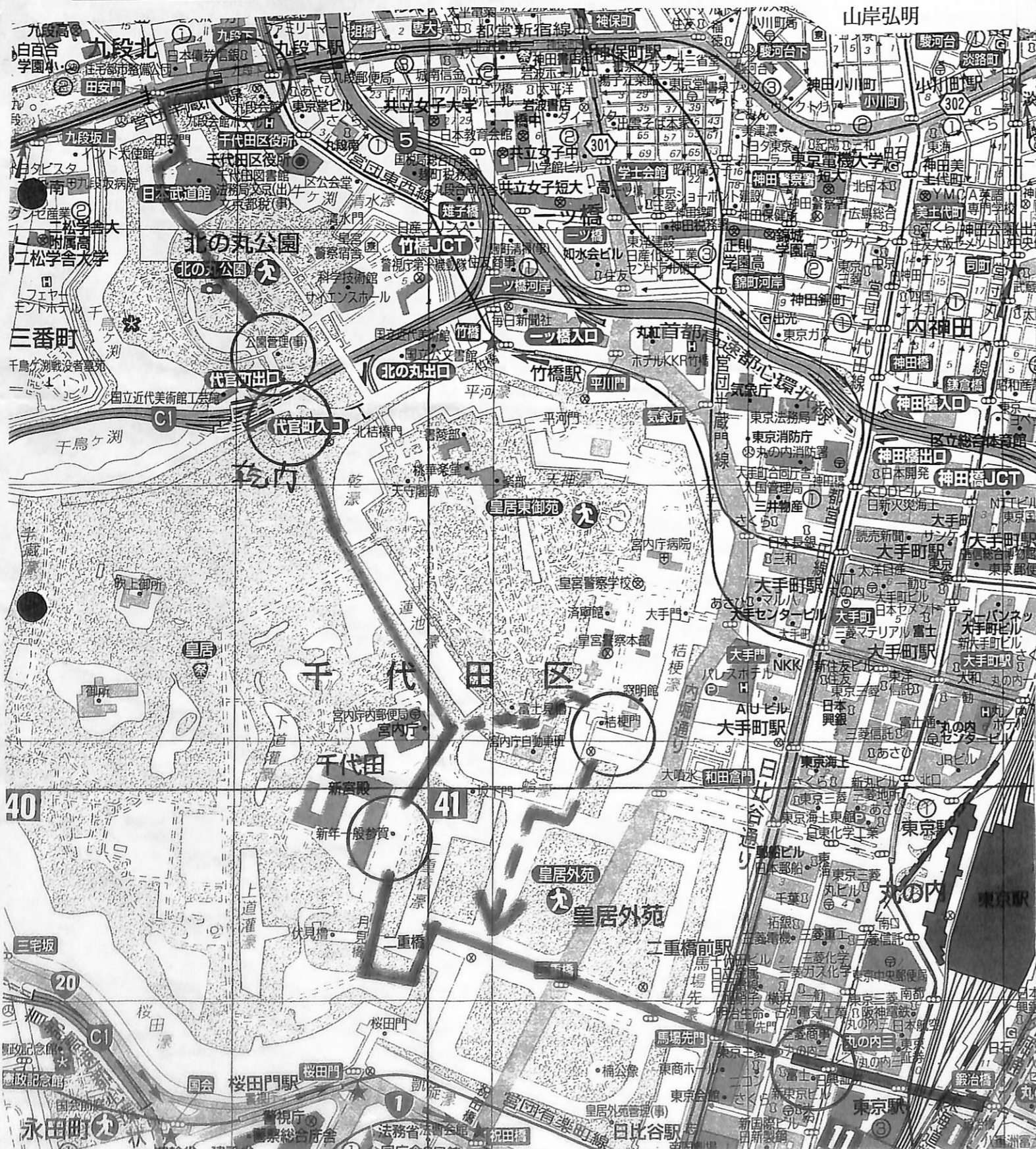
城と史蹟を歩く会第9回「皇居一般参賀と明治神宮初詣」資料

<日時> 平成14年1月2日(休日) 10時ころ~16時ころ

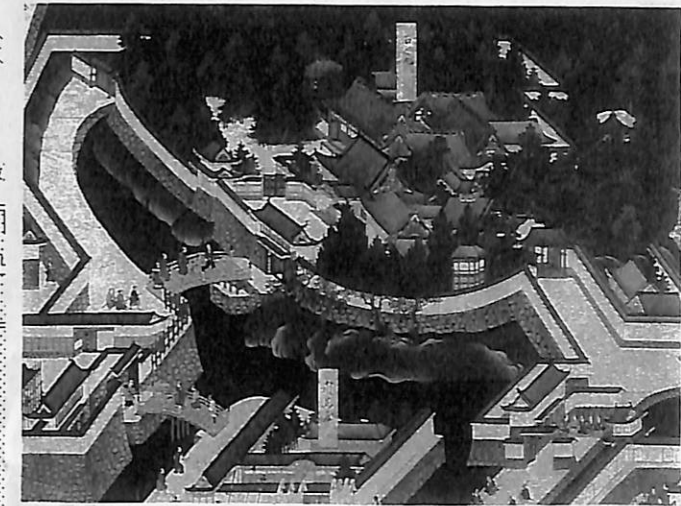
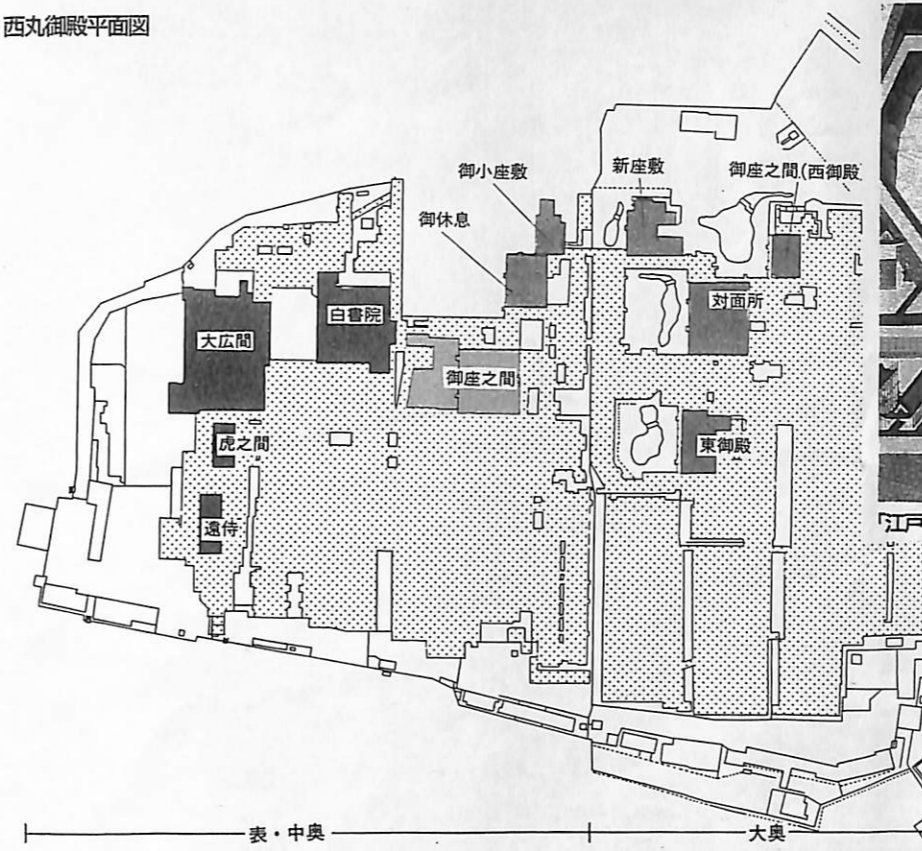
<主要行程> 八幡宿8時10分乗車 — 蘇我8時29分発(③番線京葉マリンドリーム)東京9時08分着、いつもの広場で開会式 — 皇居二重橋 — 伏見櫓 — 東庭(天皇祝辞10時10分、11時00分)(希望者は桔梗門退出、再入場) — 富士見櫓 — 蓮池濠 — 御局門 — 富士見多聞 — 西はね橋 — 乾門 — 北の丸公園入ってすぐの池際休息所11時40分集合(昼食、解散) — (以降有志のみ)九段下(半蔵門線)表参道 — 明治神宮 — 原宿(山手線)東京(京葉線)蘇我 — 八幡宿

<皇居へ持込めるもの> ハンドバック、カメラ、簡単な手荷物

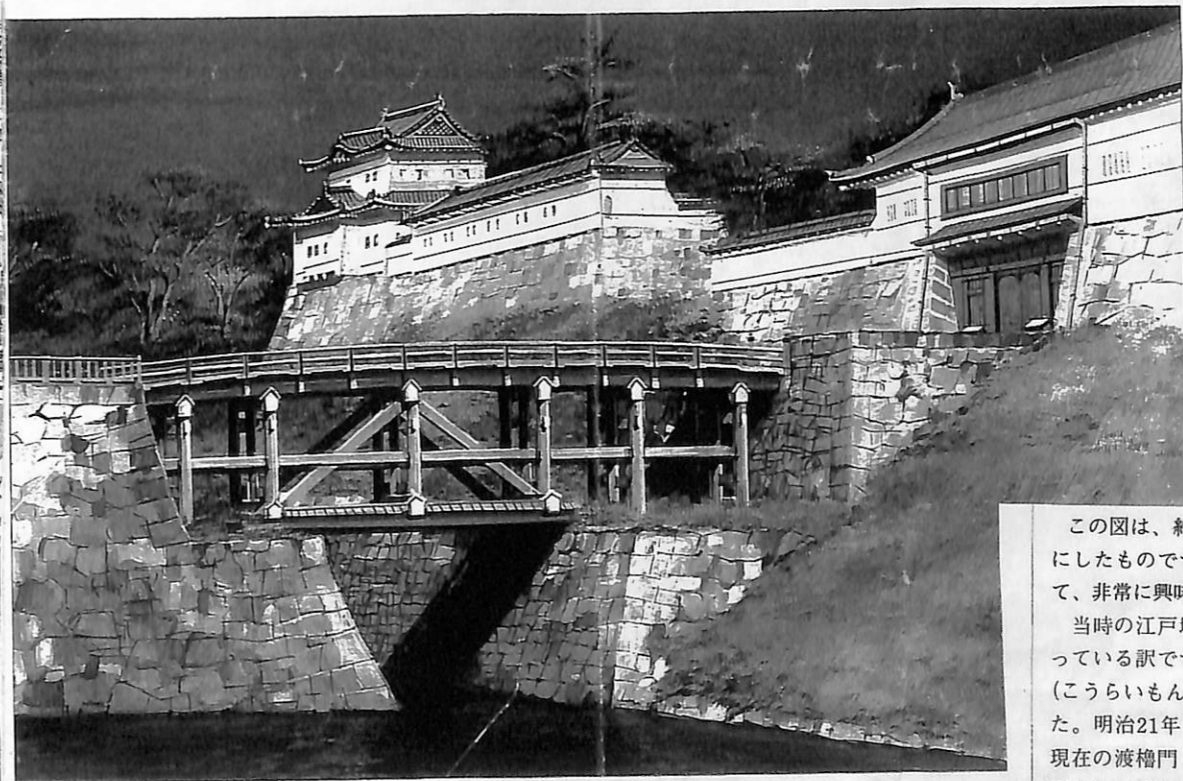
<お断り> 混雑と警備で団体行動や記念写真、説明など満足なご案内はできません。



西丸御殿平面図



西丸大手門(東京国立博物館蔵)
西丸大手門の明治のごく初め頃の古写真である。門の外、東側から見ている。橋を渡った向こうに高麗門、そして渡櫓門がみえている。



西丸下乗橋

この図は、約130年前の慶応2年頃の写真をもとに絵図にしたものです。現在の姿(テレホンカード)と比較して、非常に興味深いものがあります。

当時の江戸城西の丸大手門が、現在の皇居の正門となっている訳ですが、もともとはこの門のすぐ前に高麗門(こうらいもん)があって、一種の柵形をつくっていました。明治21年の明治宮殿造営の際に高麗門は撤去され、現在の渡櫓門(わたりやぐらもん)のみとなり、名称も翌年から正門と改められました。

手前の木橋(西の丸大手橋)は、明治21年12月に石造の橋に、奥の木橋(西の丸下乗橋)は、明治21年10月に鉄の橋に、それぞれ架け替えられました。

二重橋の名前は、この奥の木橋が架けられていた部分の濠(ほり)が深く、図のように、橋桁が二重に組まれていたために起こったようで、既に寛政時代の文献にも二重橋という名がみえています。

宮内庁で使用している名称は、それぞれ「正門石橋」「正門鉄橋」ですが、一般的には、この二つの橋を総称して二重橋と通称されていると考えてよいでしょう。なお、現在ある奥の鉄橋は、昭和39年6月、新宮殿造営に際して架け替えられています。



皇居二重橋

1) 皇居 (旧江戸城西の丸、幕末の仮本丸、旧吹上お庭)

- ①天皇の住居。35万坪。昭和43年建造の昭和宮殿、36年建造つねの御殿の吹上御所などがある。
- ②かつての江戸城西の丸、幕末の仮本丸跡。慶長16年、徳川家康の隠居城として構築、しかし、本人は駿府で2元政治を行なったので居住することはなかった。世子時代の3代将軍家光が初めて入城、寛永元年大御所に退いた秀忠とお江が生活した。以後歴代将軍世子邸、大御所邸とされた。
- ③幕末風雲急を告げた14代将軍家茂の元治元年、本丸、2の丸、3の丸が焼失。幕府は西の丸に仮御殿を造宮、明治維新までの4年間仮本丸とした。
- ④慶応4年、鳥羽伏見の戦いに敗れた15代将軍慶喜が西の丸に逃帰り、江戸城が開城された。
- ⑤明治元年 (慶応4年) 明治天皇が入城、東京遷都。以後、明治6年火災焼失、21年明治宮殿完成、昭和20年戦災焼失などをへた。

2) 皇居二重橋 (旧西の丸大手門、下乗橋)、周辺石垣と二重橋濠

- ①手前正門石橋、奥鉄橋。本来、奥の2重構造に由来するが、現在は2つの橋を総称することが多い。
- ②皇居の正門。公式行事、国賓、各国大使の参内、一般参賀以外は開かない。
- ③旧江戸城西の丸大手門 (橋)、下乗橋 (門)。下乗橋は濠深く2重構造とした。(別図参照)
- ④周辺石垣と二重橋濠をながめながらゆっくりと。両橋間は旧的場郭。かつて的場がおかれた。

3) 伏見櫓

- ①二重橋とならぶ皇居の象徴。伝寛永6年、豊臣秀吉構築の伏見城を移築。
- ②大正14年関東大震災で倒壊。現在の建物は鉄筋コンクリート復元。富士見櫓、巽櫓とともに現存? 3櫓の1つだが文化財としての指定はない。
- ③入母屋屋根、本瓦葺きシャチ付き2重櫓。初重6×5間平側千鳥破風石落とし、2重平側唐破風
- ④続多間櫓。かつて本丸を巡らせた多間櫓も富士見多間と2か所だけに。

4) 昭和宮殿、長和殿東庭 (一般参賀会場) (西の丸御殿跡)

- ①二重橋をこえると大きな東庭に出る。正面の新宮殿が天皇ご一家のお立台。ここで天皇の祝辞を拝聴する。
- ②昭和宮殿は昭和43年竣工、鉄筋コンクリート2階、地下1階、延面積2万3千㎡。儀式を執行する正殿を中心に大宴会場豊明殿、お立台のある長和殿からなる。
- ③参賀では東庭側表廊下から前庭に向けご一家が立並び、天皇が祝辞を述べられる。今回は第1回の10時10分 (間にあうはずだが?) と第2回11時00分の2回を予定しています。
- ④このあたりが西の丸御殿の中心で中奥。すすんで大奥に至る。大奥には仁孝天皇の皇女で14代将軍家茂に降嫁された和宮も居住された。
- ⑤西の丸は慶長16年 (寛永11年焼失)、寛永13年、慶安4年 (天保9年)、天保10年 (嘉永5年)、嘉永5年 (文久3年)、元治元年 (明治6年) の5度建造、建築面積6,500坪、総工費105万両 (嘉永5年=現在の2,000億円?)
- ⑥いったん桔梗門退出、再入場をおすすめします。

5) 宮内庁庁舎

- ①昭和宮殿を誘導にそってすすむと宮内庁に出る。緑屋根、白の3階建て木造庁舎で、外苑からも坂下門の後方にはっきりとみえる。
- ②昭和10年建造、昭和27年から新宮殿完成までの間、3階が仮宮殿となり、平成天皇の立太子式と成年式が行なわれた。

6) 本丸石垣と富士見櫓 (桔梗門への通路)

- ①出口3コースのうち桔梗門にすすむと、およそ20mの高石垣に出る。慶長12、13年の第1期江戸城工事で作られた本丸石垣。石積みは当時の最新技術、打込みハギ。
- ①高石垣にそびえる3重櫓。慶長11年創建、石垣は加藤清正が築いた。明暦3年の江戸大火で焼失、万治元年再建されて明治維新におよんだが関東大震災で倒壊、大正14年に旧材に新材を混ぜた和小屋構造で復元、外装は白セメント仕上げ。
- ②入母屋屋根本瓦葺きシャチ付き3重。初重妻側唐破風、平側千鳥破風、石垣からのみ出しは石落とし。登ってくる敵に底を開いて石を投下する。



7) 陛下用車庫、宮内庁車庫、幕府金蔵跡

- ①陛下がご使用になる自動車の車庫。パレードの馬車も?
- ②金蔵=何百万両ともいわれた大判、小判、金塊などを保管。ただし明治維新のときカラ。勘定奉行小栗忠順が持出し埋蔵したとも?
- ③嚴重に守られたはずの金蔵が安政2年、2人組盗賊に破られ、4千両が城外、6千両が濠底に

8) 桔梗門 (内桜田門) (一般参賀出口の1つ)

- ①太田時代からの城門で、徳川入府当時、太田家の桔梗紋が付けられていた?
- ②寛永期の構築。関東大震災で倒壊、現在のものは大正時代の復元だが、周辺石垣などは現存、よく旧態を残している。
- ③升形門=土橋、高麗門、内升形右折れ、渡櫓門 (19×4間)、大番所

9) 坂下門 (参賀出口の1つ)

- ①宮内庁の正門。両陛下も通用口として利用される。
- ②かつて升形門だが、明治宮殿の建造にあたり高麗門と升形を撤去、渡櫓門を90度回転させた。
- ③文久2年、門前で首席老中安藤信正が水戸浪士に襲撃されて重症を負った。安藤は政界復帰することなく失脚。井伊直弼暗殺に次ぐテロ事件で幕末の政局は一段と混迷を極めることになった。

10) 本丸高石垣、富士見多間と蓮池濠、道権濠

- ①宮内庁から左折して乾通りを進む。右側に本丸の高石垣と蓮池濠がつづく。慶長12年の第1期工事で築かれた本丸と西の丸境の濠と石垣。新緑の季節はとくに美しいという。
- ②高石垣=高さおよそ20m。打込みハギ石組が続く。富士見多間櫓=現存。東御苑で見慣れた多間も石垣上にみると立派な櫓に見える。
- ③蓮池濠=長さ300m、幅50m、平底、水深は1.5~2mと浅い。道権濠=太田道権時代の外濠で自然の溪谷を利用したらしい。西の丸と吹上お庭の境であったが明治宮殿の建造で埋立て縮小された。史蹟看板はあるが濠はみえない。

11) お局、お局門

- ①お局はかつて女官たちが住んだ明治の大奥。戦後廃止され一部が女子公務員宿舎として残り、黒塗りのお局門が当時の面影を伝えている。
- ②お局の裏側は旧紅葉山で徳川家歴代の御霊屋と宝蔵がおかれた。

12) 西はね橋、北はね橋

- ①本丸と西の丸、本丸と北の丸を結ぶ橋。はね橋は橋をはねあげるという意味。西は普段橋をかけ緊急時に金具とロープを使ってはねあげる。北は普段ははねあげ必要時にかけはしする。
- ②ともにかつて升形門。北は東御苑の出入口だが、西は通常みるとはできない。周辺景色がまたいい。

13) 吹上御苑、旧吹上お庭 (遠望)

- ①天皇がお住まいの吹上御所がある。一面の原野で武蔵野の自然を彷彿させるという。
- ②かつての吹上お庭。はじめ尾張義直、紀伊頼宣、水戸頼房の御三家邸が金色のイラカを輝かせ、江戸中後期は火除地兼馬場兼将軍家庭園、歴代将軍が馬術にはげみ庭園に遊んだ。

14) 乾門 (出口)

- ①さらにすすむと皇居の裏門、一般参賀の終点、乾門に出る。
- ②明治宮殿のために作られた新しい門。明治21年、江戸時代の西の丸裏門を移築、両袖を加えて皇居の通用門とした。

15) 北の丸公園 (昼食、解散)

16) 明治神宮 (初詣=有志)

- ①明治天皇と昭憲皇太后を祀る旧官幣 (国立) 大社。大正9年国費で建立されたが昭和20年東京空襲で焼失、33年に復興された。
- ②初詣はわが国最高の人出で賑わう。

以上



←二重橋=伏見櫓 ↑一般参賀

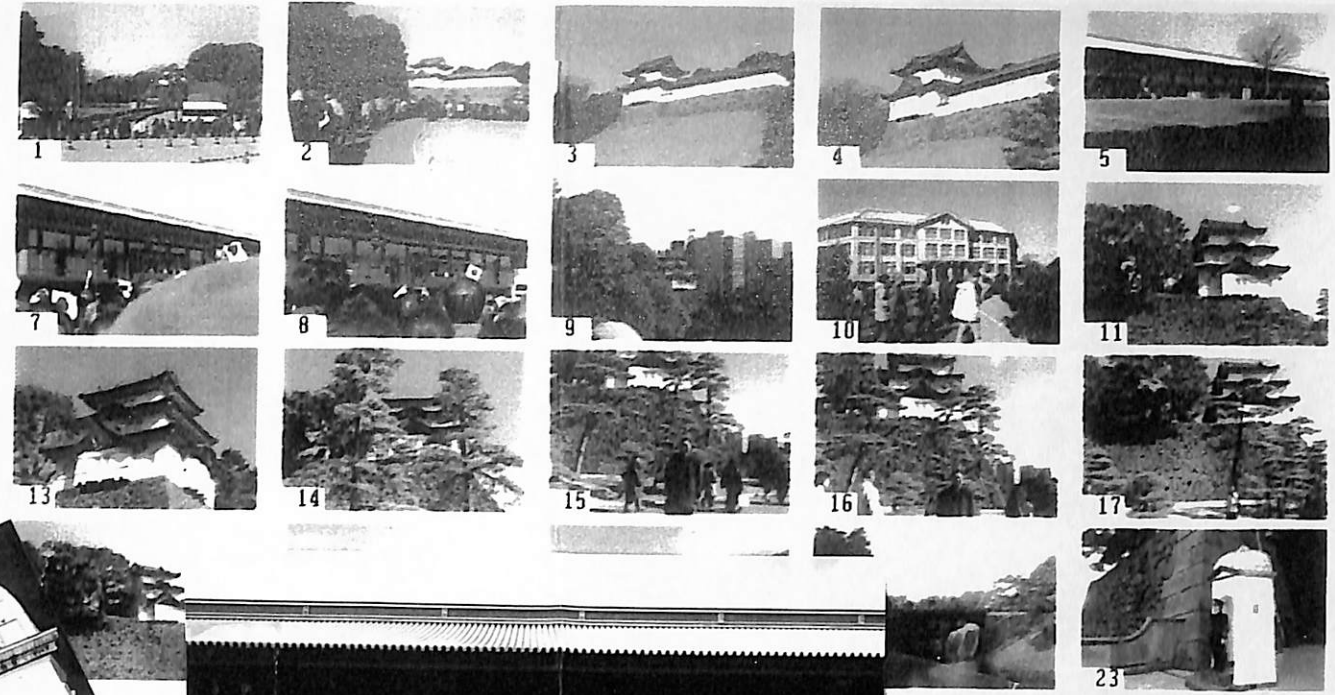
城と史蹟を歩く会**第9回「皇居一般参賀と明治神宮初詣」

平成14年1月2日(休日) = 自由参加 = 参加20名

主要コース=皇居正門二重橋、伏見櫓、昭和宮殿長和殿東庭(天皇御一家の年賀祝辞を拝聴)、富士見櫓、お局門、蓮池濠、本丸石垣、富士見多間、道權濠、西はね橋、北はね橋、乾門、北の丸公園(昼食解散)、有志で明治神宮初詣
 おだやかな好天に恵まれたお正月の2日、新年恒例の一般参賀に参加。出産後日浅い雅子さまのお姿こそなかったが、天皇陛下、美智子皇后さま、皇太子さまらご一家のお元気なお姿が拝見できました。

城と史蹟を歩く会=次回は3月10日(日曜日)「品川宿を歩く」です。

ALBUM



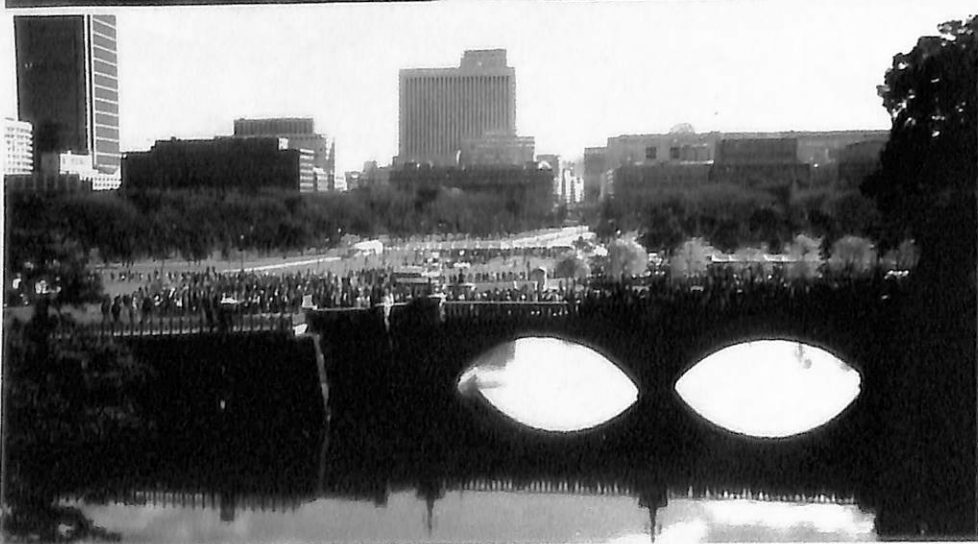
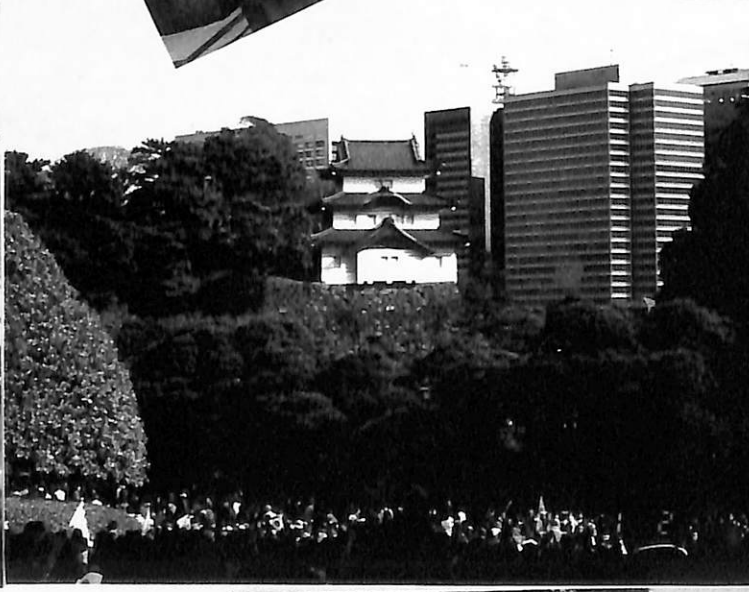
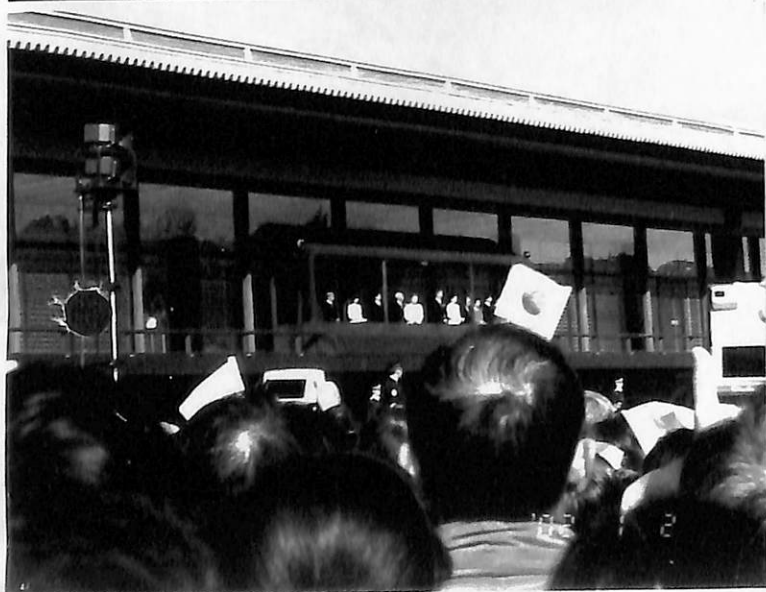
一般参賀に訪れた人々に手を振る天皇ご一家と皇族方=2日、皇居で

新年恒例の一般参賀がねぎらいの言葉をかけ一日、皇居・宮殿の東庭で行われた。天皇陛下は皇后さま、皇太子さまらとともに計七回、東庭に面したベランダに出て、訪れた人たちに「新しい年を迎え、新年とともに祝うことを誠に喜ばしく思います。年頭にあたり、わが国と世界の人々の幸せを祈ります」とあいさつされた。

一般参賀に7万2800人

皇后さま 海外 今秋の児童図

皇后さまが今年秋、スイスを私的に訪問し、バゼル市で開かれる国際児童図書評議会(IBBY)の五十周年記念世界



「わが国と世界の人々の幸せを祈ります」



新年恒例の一般参賀がねぎらいの言葉をかけ一日、皇居・宮殿の東庭で行われた。天皇陛下は皇后さま、皇太子さまらとともに計七回、東庭に面したベランダに出て、訪れた人たちに「新しい年を迎え、新年とともに祝うことを誠に喜ばしく思います。年頭にあたり、わが国と世界の人々の幸せを祈ります」とあいさつされた。

皇居、新年一般参賀に72850人

宮殿の長和殿ベランダから、参賀の人たちにこたえられる天皇、皇后両陛下と皇太子さま=2日午前

出陣の雅子さまは、大事をとって欠席された。午前中(二回は両陛下、皇太子さま、秋篠宮ご夫妻、紀宮さまの天皇ご一家ほか常陸宮、三笠宮、高円宮の各ご夫妻が、三回目はご一家だけで、参賀の人々に手を振ってくださった。午後三時二十分からの最後の回は一時小雪が舞う中、天皇陛下は「舞う中、天気が開れれば、は「おどろき」にきてくれたらいい」と、体にあいさつされた。

城と史蹟を歩く会*第9回「皇居一般参賀と明治神宮初詣」*予告編

平成14年1月2日(休日) 雨天は中止、平成15年に再計画

往路=八幡宿8時10分-蘇我29分(京葉快速③番線)東京9時08分着-皇居
(以降は希望者のみで)移動=九段下(半蔵門線)表参道-明治神宮
復路=原宿-東京(京葉線)蘇我-八幡宿17時ころ着

お断りと注意事項

- ①皇居に持込める手荷物はハンドバック、カメラ、コンビニ袋おにぎり程度です。入場時の手荷物検査でリュックなどは一時預かりされますのでご注意ください。(自宅から昼食を持参する場合はとくにご注意ください。昼食場所は飲料自販機だけです)
 - ②東京駅京葉線いつもの広場で開会式、コースと見所。北の丸公園でまとめ説明します。
 - ③資料は作りますが、2か所とも警備と混雑のため団体行動や説明、ご案内はできません。
 - ④天皇の祝辞は10時10分と11時00分です。この間、強足の方は一旦桔梗門か坂下門から出て再入場も可能です。途中からの逆走はできませんのでご注意ください。
 - ⑤世話人位置は天皇が挨拶される東庭の最左側(入口側)です。退出は最後にゆっくりと。
 - ⑥集合場所は乾門出た先、北の丸公園池沿いの休息所(第3回江戸城の昼食地と同じ)11時40分です。昼食。
 - ⑦明治神宮の初詣は自由参加とします。直接帰られる方は地下鉄九段坂下から乗車ください。
- 主なコースとみどころ 往路の購入切符=八幡宿(820円)東京
- ①皇居=江戸城西の丸、幕末期の仮本丸。江戸開城の地。家康隠居城として創建、歴代将軍世子、大御所、お江ら居住。敷地7万坪に7千坪の建物。4度焼失、6度建造。
 - ②皇居二重橋=西の丸大手門と下乗橋。いま皇居正門、普段はあかすの門。石橋、鉄橋を渡る。
 - ③伏見櫓=伝豊臣秀吉伏見城移築。2重櫓に続多間が連なり華やいだ景観を作る。
 - ④昭和宮殿、長和殿=東庭のお立台に天皇一家が並び祝辞。テレビの光景が繰り広げられる。
 - ⑤富士見櫓=加藤清正構築の30m櫓台下から見上げる3重櫓は勇壮。一般参賀最大の見所。
 - ⑥桔梗門、坂下門=普段立入ることのできない宮内庁の専用門。桔梗門は旧態の升形門。
 - ⑦紅葉山、お局跡、局門=かつて奥一帯は徳川霊廟。局は明治の大奥。黒塗門が面影伝える。
 - ⑧蓮池濠と本丸石垣=本丸と西の丸をわける堀と高石垣。本丸囲んだ堀の一部が富士見多間。
 - ⑨西はね橋=本丸と西の丸の通路。緊急時は橋をはね上げて交通を遮断する。
 - ⑩乾門=明治にできた門、皇居と北の丸を結ぶ。西の丸裏門を移築。天皇一家の通用門。
 - ⑪明治神宮=明治天皇と昭憲皇太后を祀る比較的新しい神社。初詣は日本最高の賑わいになる。

